

PEO 構造問題プロジェクト 研究成果概要
「太平洋地域における
マクロ金融リンケージと東アジアの金融市場発展」
(Macro-financial Linkages and Financial Deepening in the Pacific Region)

本報告では、東アジア新興市場を主たる対象地域として、その国際資本市場とのマクロ金融リンケージ、および国内金融システム発展との相互関係を考察した。主な結果は次の通りである：

1. 外国資本流入の構成はアジア危機前後で大きく変容し、FDI・証券投資とも域内投資が大きな役割を果たしている。
2. 国内金融システムは外資依存度が低く、金融深化の程度が高いが、民間投資ファイナンスに関する限り、同システムのアジア危機後の回復は実物経済成長と対照的な停滞ぶりである。
3. 今般のグローバル金融危機がアジア危機型の負の影響をもたらす可能性は小さいが、それは上記の金融リンケージの変容によるものであり、国内金融システムの発展によるものではなく、また、アジア危機後の国内マクロ政策や地域金融協力の枠組がグローバル危機で果たした役割は限定的である。
4. 今後の政策課題としては、短期的には拡大する市場リスクに対応できる伸縮的なマクロ金融政策レジームを再構築すること、中期的には変容する投資リスクに見合った国内金融システムを模索することである。